

事業所名 久喜市立のぞみ園

公表日 令和7年 3月31日

利用児童数

12名

回収数 8(兄妹2名分1部回収)

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	1	0	0		・人数が多いと狭さを感じてしまうスペースですが、遊具や備品等の配置を考えながら環境づくりをしています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8	0	0	0		・配置基準は満たしています。職員体制を、活動やお子様の様子によってその都度検討していきたいと思えます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	0	0	1		・何をどこに置くか、など分かりやすいように絵カードを用いながら提示しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6	2	0	0		・毎日始業前、終業後に清掃、物品の消毒をして感染症予防に努めています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	0	0	0		・職員間でお子様の様子、その日にあった事などを情報共有してその後の支援に繋げています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7	0	0	1		・支援プログラムについては、評価をいただいている時点で公表していませんでした。周知ができず、申し訳ありませんでした。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8	0	0	0		・職員間でお子様の課題や目標、支援方法について相談、検討しながら作成しています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7	1	0	0		・お子様の発達や状況を把握して、必要な課題の設定、具体的な支援ができるように努めています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8	0	0	0		・定期的に、職員会議やモニタリングなどで支援の内容や方法について見直しをしています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5	1	0	2		・活動内容が固定化されないように活動を組んでいます。バランス良く様々な活動ができるよう取り組みます。
保 護 者 へ の 説 明 等	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	2	0	1		・園庭で隣接の保育園児と関わる機会がありますが、活動としての交流は2回のみでした。多くの交流が持てるように企画していきたいと思えます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	0	0	0		・運営規程、利用者負担等については説明しましたが、支援プログラムについては、今後説明していきたいと思えます。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	0	0	0		・個人面談にて、支援計画の目標や支援内容などについて説明させていただいています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	2	0	0		・相談に応じて助言をさせていただいたり、保護者会やグループ登園日の勉強会にて意見交換等を行いました。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	8	0	0	0		・送迎時に様子の確認やその日の様子をお伝えするなど情報共有をしています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	0	0	0		・個人面談は、定期的に行っています。ご家庭での様子を伺ったり、相談ごとに対して助言を行っています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8	0	0	0		・今後も、お子様をご家族の方と一緒に見守っていき、成長を喜びたいと思えます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	6	0	1	1		・保護者会は年2回開催しました。また、グループ親子登園日にも保護者同士での意見交換や勉強会を行いました。きょうだいへの支援についても、今後行っていきたいと思えます。
	19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	0	0	1		・相談の申し入れがあった時には、その都度、迅速に対応できるようにしています。
20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	0	0	0		・送迎時に様子についてお話ししたり、連絡帳の利用や、電話、メールで連絡を伝えるなど配慮しています。	
21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6	1	0	1		・月1回、園だよりを発行して行事予定などについて発信しています。自己評価の結果は配布、HPにて公表しています。	

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	0	0	0		・個人情報の使用について、同意書を記入して頂いています。今後も、個人情報の取扱いには充分気をつけていきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	1	0	0		・マニュアルをいつでも閲覧できるようにまとめて掲示しておきたいと思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	0	0	0		・避難訓練は毎月1回、地震、火災、風水害、防犯等、様々な災害を想定して行っています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	0	0	0		・安全計画については、定期的に保護者の方へ周知していきたいと思います。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	0	0	0		・利用時に怪我をした場合、速やかにご家族へ状況や症状についてお伝えをしています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	8	0	0	0		・今後も、園の環境を整えて、お子様が安心して楽しく過ごせるように頑張りたいと思います。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	7	1	0	0	・行き渋りもなく、楽しく通所できています。いつもありがとうございます。	・お子様が「のぞみ園は楽しい！」と行くのを楽しみにしてくれることが、職員一同とても嬉しいです！
	29	事業所の支援に満足していますか。	8	0	0	0		・お子様やご家族の方が安心して利用ができるように、今後もより良い支援を目指していきたいと思います。

事業所名		久喜市立のぞみ園				公表日	令和7年 3月31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	2	・物品や遊具の配置を変えたり、スペースを充分に取れるようにしている。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		4	1	・状況を見ながら、その都度配置を検討している。	・法令が必要とされている人数以上の配置をしているが、人手が足りないと感じる時もある。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		5	0	・写真や絵カードを使い、視覚的に分かりやすい環境整備を行っている。	・分かりやすい環境整備の仕方、作り方を学んでいきたい。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		5	0	・登園前、給食後、降園後に清掃、消毒を行なっている。 ・玩具や遊具の安全チェック。	・玩具や遊具の点検チェック表を作成して、定期的に行なっていく。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		5	0	・情緒や、健康状態などの様子に応じて個別に部屋を使用している。	・部屋数が限られているため、パーティションを使用するなど工夫していきたい。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	・全職員に周知している。	・周知はしているが、短時間職員の意見を聞く場がなかなか持てなかった。紙に記入してもらおうなどしていきたい。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・保護者の意向を確認して、業務改善や子ども、ご家族の満足度向上に繋げている。	・評価表の「意見の記入」が少ないため、記入してもらえると意向が把握しやすい旨を周知していく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・職員会議や面談などで、意見を聞いている。また、その意見を業務改善に繋げている。	・意見を言いやすい環境、機会を今後もつくり、業務改善→良い支援に繋げていきたい。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	・実習生の受け入れやボランティアさんなど外部からの評価をもらっている。	・第三者による外部評価は行っていないので、今後の課題である。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・虐待防止や、発達支援の研修に参加したり、法人の内部研修でチームビルディングについて学んだ。	・全職員が研修を受けられる機会を作ることが難しい。オンライン研修を活用するなど工夫していく。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	—	—	—	—	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	・職員間で相談、確認しながらアセスメントをして計画を作成している。	・今後も、適切なアセスメントを行ない、子どもや保護者のニーズに沿った計画作成ができるようにしていきたい。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・上記と同様、職員間で協議して計画を作成している。	・上記と同様。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・支援計画は、職員間で共有して支援を行なっている。毎月の職員会議でも見直しを図っている。	・今後も、職員間で支援計画の内容を把握して支援を行なっていく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	・「遠城寺式乳幼児分析的発達検査法」などの検査を用いて、発達状況を知る手がかりとしている。	・アセスメントのツールを、現状使用しているものの他にどのようなものがあるか調べて活用していきたい。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	・子どもが無理なく、楽しく取り組めるような目標、支援方法になるように職員間で協議しながら作成した。	・子どもの好きなこと、物を日頃から様子観察をして把握し、目標や支援方法に取り入れていきたい。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・毎日の活動については、子ども達の支援目標に合わせた内容を考え、職員間で相談しながら立案している。	・5領域の内容に合わせた活動を意識しながら立案していく。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・子どもの様子や、子ども達が興味を持っていることなどを取り入れて組み立てを行なっている。	・5領域の内容のバランス、子どもの支援目標に沿った内容などを考えながら、活動が固定化しないように立案していく。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	・子どもの発達や目標などを考慮して個別活動、集団活動を行なっている。	・個別活動は行なっているが、定期的に取り組みするように計画、実施していく。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	・活動内容や、子どもの様子、状況などについて伝え合い、情報共有をしている。 短時間職員にも同様に伝えている。	・今後も継続していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	・その日にあった出来事や保護者の方からの連絡事項など報告や協議を行なって情報共有をしている。	・今後も継続していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	・連絡帳への記入、個別の記録、支援日誌、業務日誌に記録をつけている。支援の振り返りや支援の改善などに繋げている。	・今後も継続していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	・6ヶ月に1回、モニタリングを行なっている。目標は適切だったか、子どもの様子はどうか等、評価を行なっている。	・今後も継続していく。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・関係機関との会議には、担当職員が参加し、支援や方向性について協議した。	・サービス担当者会議や関係機関との会議には参加をし、連携を図っていきたい。
関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	・家庭児童相談員、併用先の幼稚園等と連携を取り情報を共有して支援を行なった。	・今後も各関係機関と連携を図り、より良い支援に繋げていきたい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	・併用の相談援助を行ったり、併用先と情報共有や相互理解を図り、移行支援を行なった。	・併用先の幼稚園へ訪問したり、訪問ができない時は電話連絡をして情報を共有した。相互共通の支援ができるように、今後も連携をしていきたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	・就学先へ支援内容や配慮すること等について情報をお伝えし、スムーズに学校生活を送れるようにしている。	・今後も継続していく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	5	・地域の児童発達支援センターとの連携を図ることができなかった。	・児童発達支援センターと連携を図っていくことが今後の課題。自立支援協議会のこども部会へ参加を継続していきながら、センターとの繋がりを作っていく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	・隣接の保育園と園庭で遊ぶ時に、関わりを持つことがあった。また、活動としての交流は2回あった。	・交流を行なった後、保育園児からの関わりがとて多くなった。もう少し回数を増やすなどして、交流を深めていきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・連絡帳への記入、送迎時の連絡など情報共有を行なっている。面談時にも、様子の確認や保護者の要望を伺っている。	・今後も継続していく。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	5	・家族が参加できる研修の情報提供はチラシの配布など行なっているが、事業所でペアレントトレーニングの実施ができていない。	・職員が研修の受講をして、ペアレントトレーニングを実施できるようにすることが課題である。
保護者	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・利用を始められる前に、保護者の方へ説明をしている。運営規程は、常時閲覧ができるように掲示をしている。	・今後も継続をしていく。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・面談や、送迎時に保護者の方の意向や要望を確認して支援計画を作成している。	・今後も継続していく。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	・面談時に支援計画を説明し、保護者の意向や要望の確認をして、同意を得ている。	・今後も継続していく。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・面談の機会を設定し、定期的に困りごとの相談を受けたり、助言をしている。面談でなくても、随時相談の機会は設けている。	・面談の時ではなくても、常時相談は受けていることを、定期的に保護者へ伝えていく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	・保護者会は年2回、グループ親子登園日でも保護者同士で交流する機会を持った。きょうだい同士での交流する機会を持つことはできなかった。	・きょうだい同士で交流する機会を持つことが、今後の課題。また、きょうだいがいても年齢が違ったり、集まれる機会がなかなかないため、どのような交流を持っていくか検討が必要である。

への説明等	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・送迎時や面談にて、相談事に応じた。 ・申し入れがあった時は、迅速に対応した。	・面談の時ではなくても、常時相談は受けていることを、定期的に保護者へ伝えていく。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・月1回、園だよりを発行し、活動予定やお知らせなどを伝えた。また、SNSを活用して、行事での様子を伝えた。	・SNSの活用は、画像や動画の使用もあるので、個人情報には十分注意しながら掲載をしていく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・職員から個人情報の取扱いに対しての誓約書を取っている。また、個人情報の入った書類やパソコンは鍵付きのキャビネットに保管している。また、SNS等で写真などを発信するにあたり、保護者の方に同意書をもらっている。	・今後も継続していく。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	・写真や絵カードを使用し、分かりやすいように工夫している。	・今後も継続していく。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	・地域住民を招待する等の地域に開かれた運営ができていない。	・近隣へ散歩する時は、地域の方々へ挨拶をしたり交流を図っているが、施設へ招待する等なかなか企画ができないため、今後の課題である。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・各マニュアルを策定している。保護者会でマニュアルについて周知した。また、訓練も行なっている。	・マニュアルについては保護者に周知はしているが、浸透はしていないようなので、閲覧できるようにマニュアルの掲示をしていく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	・災害時、感染症のBCPを策定した。それぞれの研修や訓練も実施した。	・全職員には完全に周知できていないので、特に災害時の職員の役割等を確認していく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	・利用開始前の面談時に確認を行なっている。情報は職員間で共有して子どもの健康管理に努めている。	・今後も継続していく。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	・利用開始前の面談時に確認を行なっている。給食やおやつ等の提供の有無や提供の仕方等、十分協議している。	・今後も継続していく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	・物品の安全チェックや避難訓練、散歩時の安全確認などを計画に沿って行なった。	・必要な箇所を修正、見直しながら今後も継続していく。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	・保護者会で、安全計画や不在確認の仕方などを伝え、周知を図った。	・園で行なっている安全確認や、避難訓練について、定期的に保護者に発信していきたい。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・ヒヤリハット事例が出た時には、どのような状況で起こったのか、対応をどうしていくか記録をして職員間で周知した。	・今年度はヒヤリハット事例があまり出ていないが、小さな事例でも出していき職員の意識向上に繋げていきたい。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・内部、外部の虐待防止研修に参加した。また、子ども用の虐待防止チェックリストを使用して支援の振り返りを行なった。	・定期的に虐待防止に対する話題を取り上げる、研修に参加するなどしていきながら、虐待防止の意識を持ち、子どもが安心して楽しく過ごせるような支援を行なっていく。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	・法人内で身体拘束適正化委員会を設置している。また、身体拘束適正化に関する指針や要綱を定めている。	・現在対象児はいないが、身体拘束を行う場合には定められた基準と方法に沿って適切に行なっていく。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	久喜市立のぞみ園		
○保護者評価実施期間	令和7年3月11日		～ 令和7年3月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	令和7年3月11日		～ 令和7年3月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月29日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者の方の事業所への満足度が高いこと。子どもも、通園を楽しみにしている。	・子ども達が楽しいと思える活動や遊びを行なえるように、子どもが興味を持っていること、好きなことを日々探っている。 ・相談に応じたり子どもの様子を伝えるため、保護者の方との会話を大事にしている。	・満足度を継続していけるよう、子どもの気持ちに寄り添いながら、楽しさの共有をしていく。また、様々な活動や遊びを取り入れていきたい。 ・保護者の方へアンケートを取る等、意見や要望を伺う機会を増やしていきたい。
2	・個別支援計画に沿った支援を行なっている。	・子どもにどう成長してほしいか、そのためにはどのような方法が必要か、というところを職員間で充分協議しながら計画を立て、支援を行なった。	・職員間で情報共有をしたり、話し合いながら適切な支援計画を立て、より良い支援ができるように務めていく。
3	・同じ敷地内に保育園がある。交流を持ちやすい。保育園園児をお手本にして模倣、行動ができる。	・園庭で遊ぶ時など、普段から関わりを持つことが多い。保育園園児の側で遊んだり、保育園園児とのやりとりの仲介を行なった。	・保育園と、交流する機会を増やしていくこと。保育士同士の情報交換にも繋げていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者支援(ペアレントトレーニング)ができていない。	・ペアレントトレーニングについて、知識が乏しい。保護者へ発信、伝えることができない。	・ペアレントトレーニングの研修への参加。知識の習得や、保護者へ伝える技術を獲得していく。
2	・幼稚園や保育園とは連携を図れているが、地域の児童発達支援事業所、児童発達支援センターとの関わりが弱い。	・地域の児童発達支援事業所やセンターと連絡を取り合ったり、関わる機会がない。	・自立支援協議会のこども部会へ積極的に参加していき、連携を図っていく。
3	・室内の手狭さ。少人数では感じないが、人数が多くなると狭さを感じる。動きのある活動を行ないにくい。	(工夫して行なったこと) ・物品や遊具を片づけたり、人数を調整しながら動きやすいようにして活動を行なった。	・物品を片づけるだけでは限界もあるため、法人で所有している広い施設や地域の施設を利用するなど工夫していく。

事業所名

久喜市立のぞみ園

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

3月

29日

法人（事業所）理念		『人間の尊重と地域社会との共生』 啓和会は、障害をもった子供の「親の思い」が原動力となって設立された法人です。「思い障害があっても、人として大切にされ、生まれてきて良かったと思える人生を送って欲しい」という親の願いと、「施設は地域を離れて勝手にひとり歩きしない。地域とともに支え合い、地域とともに歩んでいく」という設立時の誓いが、「人間の尊重と地域社会との共生」という理念を生みました。この設立理念は、啓和会を支える根幹であり、ゆるがない不変的な考え方として、時代を越えて引き継いでいく基本理念です。						
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・お子様やご家族の気持ちを大切にされた支援を行います。 ・スモールステップで、楽しい遊びを通じた支援を行います。 ・「やってみたい！」とチャレンジする意欲を育て、「できた！」という喜びを共有して、自立に向けたサポートをします。 						
営業時間		9時	30分	15時	30分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・心身ともに健康に過ごせるように、登園時の健康状態をご家族と情報共有や相談、助言をしながら支援をします。 ・基本的な生活習慣（食事、排泄、着替え等）や動作を身につけていけるように、わかりやすい声かけや環境の設定をします。 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の身体の状態に応じながら、様々な運動あそびや感覚あそびを行います。 運動…粗大運動（姿勢保持や、体を大きく使う運動）や微細運動（手先や道具を使った細かな動き）に取り組み、発達を促します。 感覚…個々の持つ感覚を把握、配慮しながら視覚、聴覚、触覚、前庭覚、固有覚等が経験できる感覚あそびを行います。 ・理学療法士によるPT指導を行います（月1回）。PTからの指導や助言を日々の支援に取り入れて支援をします。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の持つ認知の特性や認知発達の状態を把握して、課題に沿った支援を行います。 ・物や人の名前、日課の流れ、時間など、分かりやすいように工夫しながら具体的に伝えます。 ・お子様が物事や情報をどう感じとり、どのような行動をするかを知り、適切な方向へ導いていけるように支援をします。 						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉や表情や仕草、行動などからお子様の気持ちを汲み取ります。お子様の気持ちの共感や、汲み取った気持ちをことばに変えて伝える支援をします。 ・言葉だけでなく、気持ちの表出の手段（指差し、サイン、写真等）を活用し、意思の伝達がスムーズにいくように支援をします。 ・子ども同士のやりとりの援助や、状況に応じた「聞く力」も育てていけるように、個々の発達段階に配慮しながら支援をします。 ・言語聴覚士によるST指導を行います（月1回 グループ指導）。STからの指導や助言を日々の支援に取り入れて支援をします。 						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様の好きなことを見つけたり、保育士と一緒に楽しく遊ぶことから、人への信頼や安心感を育てていけるように支援をします。 ・一人あそびから、友達に興味を持ち保育士が仲介して一緒に遊ぶ→集団あそびに参加することができるようにお子様の様子を見ながら支援をします。 ・集団生活に必要なルールやマナーを分かりやすく伝えていきます。 						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方と情報交換をしながら相談事に応じ、一緒にお子様の成長についてアドバイスをしたり考えていきます。 ・就学に関する情報の提供や相談、座談会を実施し、就学支援を行います。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・保育園、幼稚園への移行の相談を行います。 ・移行先との連絡調整、訪問を行い、連携を図ります。 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・久喜市こども家庭保健課、相談支援センター、幼稚園、保育園等の地域の関係機関と情報共有を行い、各方面から支援ができるように連携を行います。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・法人内部研修や、外部の研修に参加して専門的な知識の習得や支援技術の向上を目指します。 	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・外出体験 ・夏のお楽しみ会 ・親子遠足 ・親子運動会 ・年末お楽しみ会 ・おはなし会 ・おわかれ会 ・卒園式 <p><季節の行事、あそび> ・お正月あそび ・節分（豆まき） ・ひな祭り ・端午の節句（こどもの日） ・七夕 ・プールあそび ・ハロウィーン ・クリスマス</p>						